

多摩市の大きな公園

1年1組8番佐藤俐來

都立桜ヶ丘公園

連光寺5丁目にある公園。339322平方メートルという広大な敷地に整備された道、遊具、芝生広場、記念館、ドックランなどの施設があり人気の公園。特に大きな特徴は名前にもある桜。春ごろになると満開で迫力のある花が見られ、花見に来る人でいっぱいになる。桜だけでなく、秋はモミジ、初夏はオカタツナミソウの紫色、夏はキツネノカミソリのオレンジ色など、四季折々の植物を見ることができる。野鳥や昆虫の種類も豊富で、野鳥の観察撮影に来る人も多くいる。イベントも季節で開催されており、秋の夜の鳴く虫観察会では大きな虫の音を林全体から聞くことができる。この公園は1880年代に天皇が兎狩りと鮎漁に訪れられており、宮内大臣を務めた田中光顕が顕彰運動として1930年に天皇を訪れた場所を聖跡として、多摩聖跡記念館を建てたそう。記念館には当時の記念物もあり、多摩市指定無形文化財になっている。

多摩市立乞田・貝取ふれあい広場

乞田川沿いに位置する公園。敷地はそこまで広くないが、木製の大きな遊具が特徴で幼児から小学生までが様々な運動を体全体ですることができ、独特な遊具は想像力を育てることができる。綺麗な芝生広場もあり、キャッチボールができるほどの広さがある。川沿いというのがあり風も気持ちよく、春には梅も咲くので少し休憩をして自然を楽しむのにもよい。

多摩市立豊ヶ丘北公園

豊ヶ丘1丁目、京王相模原線沿いにあり、京王永山と京王多摩センターの間に位置する公園。公園面積で近隣公園26箇所の中で2番目の49803.97平方メートルの大きさ。山の中にあるような自然を生かした地形で、歩道が整備されているため、散歩に来る人が多い。最高点が標高130.7m、最低点が標高115mで、約15mの高低差があり坂も多いため、ランニングや山登りトレーニングに来る人も多い。無料駐車場も6台分あるため、家族でピクニックに来るにも良い。

多摩市立多摩中央公園

落合二丁目にある多摩市立の都市公園。多摩市の観光地として有名なパルテノン多摩があり、令和五年七月会館予定の新設中央図書館も見どころ。大きな池と広場が特徴で、ピクニックに来る人も多く、自然を楽しめるスポットになっている。多摩センター駅から大きい道で一直線につながっており、冬の時期になると綺麗なイルミネーションで道が飾られる。秋になると綺麗な紅葉を見ることができ、夏になるとイベントもあるため、一年中楽しめる。2025年にリニューアルする予定でこれからも多摩市の中心になる公園になると思われる。

多摩市立瓜生緑地

多摩市の中心、永山5丁目にありに位置している。鎌倉街道がすぐ隣にあり、最寄り駅は京王永山。池や芝生のある北側、四阿のある南側に大きく分かれている。昭和53年に開園しており、造園家である小形研三が設計をしている。池や樹木の配置、四阿が工夫されていて見ると東京にいるとは思えず、京都の日本庭園にいるような気持ちになれる。自然豊かで、運が良ければカワセミを見ることがもできるそうだ。

多摩市には多くの公園があり、中でも大きな良い公園が多い。今回はその中でもいくつかの公園について調べ、人気の高い公園を5つ挙げてくわしく調べてみた。調べてみると敷地が広く、芝生広場があったり高低差のある整備された散歩道など多摩市の自然豊かなところが分かった。桜や紅葉など、絶景スポットといえる場所も多くあった。多摩市は日本一長い遊歩道があり、ランニングコースとしては41キロメートル。ほぼフルマラソンの距離走ることができる。自然を楽しみながら走るのも良いだろう。また、調べてみると開園から歴史のある公園も分かった。最近劣化が見られる公園もあるが、時代の流れとともにアクセスしやすく、新しい公園へ開発が進んでいる公園もある。ぜひ、多摩市の公園に足を運び多摩市の豊かな自然を全身に感じてみてはいかがだろうか。

